

メールマガジン 埼玉県議会



発行：埼玉県議会



No.284 2019.9.12

**県議会テレビ番組「こんにちは県議会です」
9月8日(日曜日)放送「常任委員会だより1」**

県議会広報テレビ番組「こんにちは県議会です」(テレビ埼玉)では、各定例会の様様や主要会派代表者のインタビューなど県議会に関するさまざまな情報を放送しています。

今号のメールマガジンでは、ご覧になれなかった方のために、9月8日(日曜日)に放送した「常任委員会だより1」の内容をお伝えします。

**こんにちは
県議会です**
常任委員会だより①

☆放送スケジュールなど詳しくは、県議会のホームページをご覧ください。>>

INDEX

**県議会広報**

こんにちは県議会です
「常任委員会だより1」

- 企画財政委員会 横川雅也委員長
- 総務県民生活委員会 浅井 明委員長
- 環境農林委員会 飯塚俊彦委員長
- 福祉保健医療委員会 宇田川幸夫委員長

**議事堂の花**

生け花のご紹介

県議会広報**【こんにちは県議会です「常任委員会だより1」】**

〈企画財政委員会〉

企画財政委員会は、県の歳入や、企画財政部、会計管理者、監査委員・選挙管理委員会に関する事柄を所管し、県行政の総合的企画や調整、行政改革の総合的な推進、地方分権の推進、交通政策の推進などについて審査を行う委員会です。

委員長 委員長の横川雅也です。県の財政や総合的企画を担当する委員会として、県行政を幅広く横断的に見渡しなが、県の発展に向けてしっかりと審査を行っております。どうぞよろしくお願いたします。



—県の財政についてお考えをお聞かせください。—

委員長 限られた財源を効果的かつ効率的に活用し、持続可能な財政運営を行うことが求められていると思います。そのためには、部局間の連携を深めることが重要だと考えます。例えば、県では複数の部局がそれぞれ施策を展開していますが、中には同じような施策を行っている場合があります。そういったものを部局横断的に整理し、分かりやすくパッケージ化して県民の皆さまに提示できないかなど、しっかり目配りをしていく必要があると感じています。

—まちづくりについてはいかがですか。—

委員長 本県は北部地域を中心に人口が減少しています。それは皆さまもご存じだと思います。また、全国でもトップクラスのスピードで高齢化が進むと予測されています。社会構造が大きく変化する中で、持続可能な社会をつくるためには、住民主導の意欲的な取り組みをもっと積極的に支援する必要があると考えています。埼玉は首都圏にあり、東京からのアクセスが良い一方で、豊かな自然に恵まれた魅力ある県ですので、若い世代をターゲットに移住の促進にも力を入れていきたいと考えています。

—交通網の整備も大切ですね。—

委員長 地域住民の生活の足として、また、まちづくりの基盤として交通網の整備は重要ですが、しっかりと維持・継続できる仕組みにしていかなければならないと考えています。例えば、利用者の減少によって従来の公共交通の維持が難しい地域の中には、デマンド交通の導入などが進められている地域もあります。交通手段の確保を含めて、地域活性化のために住民や地域が主体となって課題を解決しようとする取り組みを強く支援していきたいと考えています。

—今後の抱負をお聞かせください。—

委員長 県の活力をさらに伸ばしていくためには、県民の皆さまと協働して、地域の特性やその強みを生かしたまちづくりに取り組むことが大切だと考えています。埼玉の明るい未来を見据えて、委員一同、積極的な議論を通じて政策の実現に全力を尽くしていきたいと思っております。

[▲トップへ](#)

〈総務県民生活委員会〉

総務県民生活委員会は、総務部、県民生活部、人事委員会に関すること、ほかの常任委員会に属さない事柄を所管し、私学の振興や県税に関すること、国際交流、青少年対策や防犯のまちづくりの推進などについて審査を行います。

委員長 委員長の浅井明です。スポーツや文化の振興、県民活動の推進、私学の振興など、県民生活に関わりが深く幅広い分野を担当する委員会として、委員一同全力で取り組んでおります。どうぞよろしく願いいたします。



—委員長として、どのような分野に力を入れて取り組まれているのですか。—

委員長 いよいよ今月下旬から始まるラグビーワールドカップを成功させることです。会場の一つになっている熊谷ラグビー場では、9月6日に日本代表対南アフリカ代表の壮行試合が行われ、大いに盛り上がりました。この盛り上がりワールドカップ本番へつなげていきたいと思っています。県民の皆さまにはぜひ世界レベルの大会を楽しんでいただきたいですね。

—来年には東京オリンピック・パラリンピックの開催も控えていますね。—

委員長 私は前回の東京オリンピックの時は学生だったのですが、当時の記憶や感動が今でも心に残っています。子どもや若者に夢や希望を与える大会になるよう、力を尽くしたいと思います。また、オリンピック・パラリンピックは、スポーツの祭典であるとともに文化の祭典でもあります。埼玉が誇る文化や魅力を積極的に発信するとともに、県民の皆さまに埼玉の素晴らしさを再発見してもらいたいと考えています。

—県民活動の推進についてはいかがですか。—

委員長 「人生100年時代」を楽しみ、また充実させることができるよう、アクティブシニアの地域デビューを積極的に支援し、元気な高齢者が地域で活躍できる環境づくりを推進してまいります。

—私学の振興についても所管されていますね。—

委員長 県内私立高校の授業料については全国トップクラスの補助制度を実施してまいりました。家庭の経済状況に関わらず、すべての子どもたちの希望をかなえるため、引き続き支援を行ってまいります。

—ほかには何かありますか。—

委員長 県有財産の建物は全体の60%以上が築30年を超え、老朽化が進んでいます。災害への備えは人の命に関わる重要な課題です。多額の費用が掛かるとしても必要な投資であると判断できるものは、長期的な視点から建て替えを含めた検討を進めていくべきと考えます。

[▲トップへ](#)

〈環境農林委員会〉

環境農林委員会は、環境部、農林部、内水面漁場管理委員会に関する事柄を所管し、環境保全対策の推進、廃棄物対策、地球環境の保全の推進、農林水産業の振興、農林水産物の品質や安全性の確保などについて審査しています。

委員長 委員長の飯塚俊彦です。環境・農林分野は私たちの生活に密接に関わるものです。これらが抱えるさまざまな課題に的確に対応し、未来を見据えた施策の推進に取り組んでおります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



—環境分野について、委員長のお考えをお聞かせください。—

委員長 国際的な問題となっているマイクロプラスチックによる海洋汚染や、耐用年数を経過した太陽光パネルの再生利用など、私たちは大きな環境問題に直面しています。これらの重要な課題にしっかりと対策を講じていかなければなりません。本県には環境科学国際センターという試験研究や環境学習などの機能を持った非常に優れた施設があります。さまざまな環境問題を解決していくために、この施設を積極的に活用していくべきだと考えております。

—農林分野についてはいかがですか。—

委員長 農業は県民の豊かな暮らしの最も基本となる「食」を支える非常に重要な分野です。しかし、農業の担い手の減少や高齢化が進み、農地面積の減少や耕作放棄地の増加が起きています。私は10年以上前から、地元の皆さんと一緒に耕作放棄地の再生に取り組んできましたが、一度荒廃した農地を再生することの大変さを実感しました。こうした課題を解消し、生産性の高い農業を実現するため、土地を集約するだけでなく、人も集約することによって新しい「埼玉モデル」をつくり、もうかる農業につなげていくべきだと考えます。また、耕作放棄地の発生防止や解消、活用を図るため、地域の担い手や新規参入者への利用促進、市民農園としての活用など、地域の状況に合わせた取り組みを進めてまいります。

—ほかには何かありますか。—

委員長 県産の和牛をブランド化し競争力を強化するため、ゲノミック評価を徹底して行うとともに、その活用方法の確立に取り組みたいと思っています。ゲノミック評価というのは、遺伝的資質を早期に判断するもので、これを活用することで肉質の向上やブランド化につながると考えています。

[▲トップへ](#)

〈福祉保健医療委員会〉

福祉保健医療委員会は、福祉部、保健医療部、病院局に関する事柄を所管し、児童・高齢者・障害者福祉の推進、地域医療体制の整備拡充、病院事業の運営状況などについて審査を行います。

委員長 委員長の宇田川幸夫です。子育て支援や医療・福祉の充実に積極的に取り組み、子どもからお年寄りまで、すべての人が安心して暮らすことができる社会の実現に向けて全力で取り組んでいます。どうぞよろしくお願ひいたします。



—子育て支援についてお考えをお聞かせください。—

委員長 後を絶たない児童虐待を絶対になくさなければなりません。児童虐待の背景には、周囲に頼れる人がおらず、独りで慣れない育児に向き合う母親が心身に不調を来していることなどがあります。その対策として、産前産後ケアを強化することが重要だと考えています。

—具体的にはどのような取り組みが必要ですか。—

委員長 産前産後の母親に寄り添い、子育てが軌道に乗るまでの間、日常生活を支える「産後ドゥーラ」のような専門的な人材の育成・活用を進めることで大きな効果が期待できます。年に10人の人材を育成すれば、10年後には100人の専門家が生まれます。このような取り組みを積極的に進め、また、子育てのワンストップサービスを地域と一体となって実現するとともに、これからは個々の悩みに対応できるプランやスキームが必要です。安心して子育てができる環境をさらに充実させていきたいと考えています。


—医療の充実についてはいかがですか。—

委員長 県立がんセンターでは、遺伝子診断によって患者ごとに最適な治療薬を選択するがんゲノム医療の拠点病院の指定を目指しています。これが実現すれば、がんゲノム医療の診断から治療までをがんセンターで一貫して行うことができるようになり、一人でも多くの命を救う可能性が広がります。また、県民の皆さまの健康を守るヘルスケアビジネスを育成・集積することも重要です。県立病院や地域の医療機関との連携を図り、予防医療・先制医療につなげていきたいと考えています。

—ほかには何かありますか。—

委員長 すべての世代が健康で生き生きと暮らすことができる環境をつくることです。そのためには一人ひとりが取り組むこととして、健康管理や医療・介護にかかる費用など将来のお金、広義における金融システムを子どもの頃から教育するなど、人生100年時代に備える埼玉を築いていきたいと思っています。

[▲トップへ](#)

 議事堂の花

このコーナーでは、議事堂ホールに飾られた生け花をご紹介します。

【協力 埼玉県いけばな連合会】



展示期間：
8月19日～8月23日
作者：
一葉式いけばな 小倉恵江様
花材：
ドウダンツツジ、スカシユリ、ト
ルコキキョウ

◇◆生け花の作者の方にお聞きしました！◆◇

〈一葉式いけばな 小倉恵江様〉

Q:色鮮やかな緑の中に淡い色のトルコキキョウの花びらが顔をのぞかせていますね。

A:この暑い季節に涼を感じていただけるように、という思いを込めて生けました。緑色とピンク色のシンプルな色使いで爽やかな雰囲気表現しています。

Q:スカシユリとトルコキキョウでピンク色の濃淡が表現されているのですね。

A:同じピンク色の花でも、白いつぼみを交えたスカシユリと、濃い色ながらも一重の花びらで主張しすぎないトルコキキョウを生けました。グラデーションのついた彩りでお互いを引き立てる組み合わせとなっています。

☆現在展示中の作品や過去の展示作品は、県議会のホームページでご覧になれます。》

[▲トップへ](#)

【注意】

●メールマガジンにおいて氏名の一部にJIS規格第1・第2水準にない文字がある場合、第1・第2水準の漢字で表記しています。

【お問い合わせ】

●[「メールマガジン埼玉県議会」の登録・解除はこちらから](#)》

※登録事項(メールアドレスなど)を変更する場合には、お手数ですが、変更前のメールアドレスを一度解除してから新規に登録してください。

●「メールマガジン埼玉県議会」についてのお問い合わせ・感想はこちらまで！

E-mail a6250-03@pref.saitama.lg.jp

埼玉県議会事務局政策調査課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048-830-6257/FAX 048-830-4923

© 2008 Saitama Prefecture All Rights Reserved. 無断転載を禁じます。

